

エントランスホール空調設備改修工事が完了

平成30年度ではエントランスホール空調設備改修工事を行いました。

エントランスホールはガラス張りであり、町民の皆様から交流の場としてご利用いただいています。

近年は経年劣化と思われる空調機の不具合が生じるなど、来館される皆様にご迷惑をおかけしておりました。

今回の工事により、空調設備が改修され近年ある異常気象にも対応できる設備となりました。



↑ 室内に設置された空調設備



町民会館運営協議会
委員による現地確認

トイレ排水改修工事が完了



↑ 配水管を新しくしました



平成30年度では町民会館トイレ排水改修工事をおこないました。

来館される皆様に関係するトイレの排水管が、経年劣化により詰まり水の逆流がおこる不具合が生じるなどご迷惑をおかけしておりました。

今回の工事により、スムーズな流れになり排水管の長寿命化をすることができました。

小野図書館について意見交換をしました

辰野町社会教育委員会では、今年度小野図書館について意見交換をしました。

職員から小野図書館の利用状況を聞き、委員の皆様からは「若い人の利用が少ない」「利用者が少ないため、この場所でもなくてもよいのでは」「維持管理の面では耐震など多くの費用がかかるのでは」等のご意見をいただきました。



↑ 小野図書館内にて開催された会議の様子



町教育委員会と町社会教育委員との懇談会が開かれました

平成30年12月21日（金）町民会館にて、町教育委員会と町社会教育委員でグループに分かれ、下記のテーマを基に意見交換を行いました。

- 全国学力学習状況調査から見える町内児童生徒の実態
 - 少子・人口減少社会に対応した町内小学校・公共施設のあり方
 - たつのEサミット in 2018 ●ど真ん中の活用など
- 主なご意見は以下の通りです。



- みんなで子供を育てる横のつながりが無いので、社協や育成会とのタイアップなど子供と触れ合える機会がほしい。
- 学校と地域のコミュニケーションが少ない。学校側からやってほしいことを声掛けしてもらえればボランティアが参加しやすい。
- 先生は夏休みがほとんどない。休みの日もボランティア参加など多忙な状況。
- 町民会館、美術館、図書館等、公共施設が老朽化している。
- 親が区や地域の活動を面倒くさがるのを子供も見ている。
- ど真ん中会議に大人だけでなく子供も参加してもらったのが良かった。今のブームで終わらせるのではなく、継続性を持たせたい。子供たちの意見で、大人が引き込まれているものもある。子供なりに先を見て検討していると感じる。



- 家庭でできないものを学校に押し付けるようで、先生もゆとりが持てない。
- 部活動を3年間続けたことは必ず成果になる。
- 夏休みが長くなることに関しては、家に家族がいるなど受け皿が必要。
- 受け皿になるような催しや、寺子屋など民間での居場所作りを。
- 保育園—小学校—中学校—高校へのサイクルは人間関係を広めていく中で必要。学校は地域にとって拠り所である。

辰野町内ニュースB面 たつの新聞



学びの環境に情報・意見交換

町教委が社会教育委と懇談

辰野町教育委員会は21日、町社会教育委員との懇談会を町民会館で開いた。情報共有するなどの年1回の場で、委員や関係課の職員22人が参加。子どもの学びや町民の社会教育の環境などについて意見交換した。写真。

町教委側は、町教育行政が抱える施設整備の課題や児童生徒の安全確保、たつのEサミットなどの取り組みを説明。全国学力学習状況調査からは家庭学習をする児童生徒が増えた一方、放課後や週末を一人で過ごす割合が高くなることを示した。

参加者は5、6人ずつの班に分かれて意見を話し合い、家庭学習は習慣化の大切さから「学校側が保護者と密に話す中で理解してもらっては」と提案。変化が迫られていて学習以外でも昔ながらの遊び体験が少なくなっている中、「地域の関わりや講座があることで別の形で学びの体験ができていく」と評価する声も出た。

今回出された意見は事務局でまとめ、今後各委員会で報告する。宮澤和徳教育長は「社会情勢が目まぐるしく変化する今日、迅速な対応が迫られていて、さまざまな課題を情報共有しながら考えていきたい」と話した。